

3月末で閉院する住吉市民病院の医療機能を継続してほしいと、「住吉市民病院をまもるママの会」は4日、大阪市で緊急集会を開き、約50人が参加しました。

同会代表の安達明日香さん(35)は、住吉市民病院がしてきた重症心身障害児のための短期入所などを例にあげ、医療機能を引き継ぐとされる二つの医療施設では規模が小さく縮小されていることから「入院ができなくなると障害児を持つ家族の負担が大きく、すごく不安がある」と話し、「すでに医療空白は始まっています。一日も早く住吉市民病院跡地に30床の入院・外来病院を設置してほしい」と訴えました。

住之江区医師会会長の松嶋三夫さんは「住吉市民病院の医療機能を引き継ぐというな

緊急集会

住吉病院閉院 ママ悲鳴 医療機能を継続して

ら、入院ができなければ役に立たない。この日本共産党の尾上康先、医療施設への受け入れを断られた数を記録して、その数を示して大阪市に改善を求めていくべきだ」と話しました。

雄大阪市議は「他党とも協力し、入院と外来のできる公立病院の設置を目指す」と述べました。



「ママの会」緊急集会で話し合う参加者。4日、大阪市